

新学術領域研究

「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて： 関係性中心の融合型人文社会科学の確立」 (略称:「グローバル関係学」)



第二回若手研究者報告会(2018年) 報告者募集のご案内(Call for Papers)

日時: 2018年12月8・9日(土)(日)

場所: 京都大学稲盛財団記念館

(京都市左京区吉田下阿達町46)

応募締切

2018年

10月8日

本新学術領域事業「グローバル関係学」は、平成28年度より、千葉大学、東京外国語大学、立命館大学などの社会科学、人文科学の最先端の学者を結集して、「グローバル関係学」という新たな研究領域の確立を目指して研究を進めています。

「グローバル関係学」は、現在、中東やアフリカ、アジアや南東欧など、世界各地で発生する紛争、対立といったグローバルな危機が、情報や思想、モノやカネ、人の移動のグローバル化などによってさまざまな関係性が複雑に絡み合い生じていると考えます。20世紀的社会科学、人文科学の枠組みをもってしてはこうした「新しい危機」ともいえる事象を十分に分析できないと考え、本「グローバル関係学」のプロジェクトが立ち上げられました。

詳しくは、「グローバル関係学」のウェブサイト、およびそこで展開されている議論をご覧ください。

「グローバル関係学」事業では、同種の問題意識や研究方向性を持つ若手研究者のプロジェクト外からのさらなる参画を、公募研究の募集(2018年秋募集予定)などの形で積極的に進めています。その一環として、毎年、プロジェクト外の研究者に広く研究報告を求める「グローバル関係学若手研究者報告会」を実施しています。

昨年度の早稲田大学で開催された第一回報告会に続き、2018年度は以下の日程で、京都大学にて開催します。関係性に注目してグローバルな危機の解明、分析に取り組む画期的な若手研究者による報告を、社会科学、人文科学、自然科学の分野を問わず、幅広く求めます。

ぜひ積極的にご応募ください。

応募要項

報告会で報告を希望する方は、**2018年10月8日(月)までに**下記①～③を記載の上、<https://ws.formzu.net/fgen/S86510717/>からお申込みください。

- ①報告題
- ②報告要旨(500～800字)
- ③報告者のお名前・所属・肩書・開催日時点での年齢



* 基調報告、総括討論等もありますので、原則として両日参加いただくようお願いします。

* 報告者には旅費を支給する用意がありますので、希望される方はその旨を付記ください。

* 応募者は**45歳以下**であること、および「グローバル関係学」の学問的趣旨を理解しその学術領域確立に貢献しうるとみなされる者として。

「グローバル関係学」ホームページ <http://www.shd.chiba-u.jp/glblcrss/outline/index.html>